

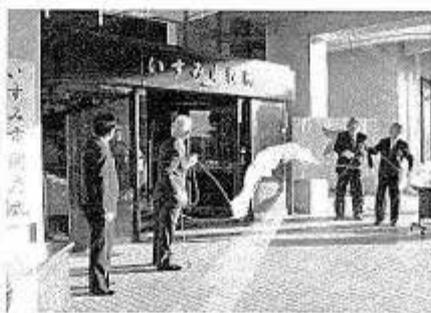
# 「いすみ市」誕生

夷隅、大原、鯉の三町が合併し、新市「いすみ市」が五日、誕生した。面積は百五十七・五平方キロ、人口約四万三千人。「平成の大合併」では、支所で開庁式が行われ、野田、輪、鴨川、旭に統

久我保、市長職務執行者が、旧夷隅町長や旧三町市役所と職員が、「いすみ市」の旗手を担ぎ、新市の門出を祝った。

〔関連記事〕

## 新市の門出祝う



いすみ市役所にて開庁式が行われ、新市長が挨拶した。

### 住民の声大切に発展を 市長選は25日に投票

新生「いすみ市」が五日誕生した。合併協議の途中で中核の船津市が急々市制戻り、さらには大原、鯉町も新市に知らないうちに、おすか三町の合併となったが、開庁式で久我保、市長職務執行者、旧夷隅町長は三町の努力の結果と強調した。

〔本文〕

美しい市街地は、それぞれ開庁式を、市民の努力の結果、幾難の市役所と各支所になる。久我保は「それぞれな発展を遂げるために、重要なのは住民の声を大切にすること」と職員を励ました。

その後、議長職以上の管理職四十三人に久我保から命令が交付され、日常業務がスタート。午後には早速、運営管理委員会を召集し、議案提出などを進める。議員は旧三町

の四十六人（欠員二）が特別措置で、来年十一月三十日まで務め、以後は定数二六になる。議場は市役所大会議室が使用される。

また合併に伴い、大原警察署が「いすみ警察署」に名称変更。これまで船津署の管轄だった旧夷隅町はいすみ警察署管内になる。そのため道庁免許の更新交付付など、はこれまでの船津署大原警察署からいすみ警察署に変更する。変更は来年一月一日から、どの署でも可。

### 難産の末「一部合併」 夷隅地域 明るい展望作り不可欠

九四年かかった難産の急ピッチで幕をまとめた。夷隅地域の合併が、一部実現した。二〇、その三町も決して一枚水面下で運籌帷幄が、一〇一年十二月に始まった。案だつたとはいえない。り、さまざまな怪文書の、新市長が実現に仕事、後に大きく影響する。合併したばかりの「いすみ市」にさらに広域の合併が求められるケースもあろう。今回参加を見合わせた大原町、鯉町や船津市で最も人口の少ない船津市にとっても新市の合併の成否は他人事ではない。

（船津支局・古川大介）

また合併に伴い、大原警察署が「いすみ警察署」に名称変更。これまで船津署の管轄だった旧夷隅町はいすみ警察署管内になる。そのため道庁免許の更新交付付など、はこれまでの船津署大原警察署からいすみ警察署に変更する。変更は来年一月一日から、どの署でも可。